

青年婦人家族 中央行動2006!

青年婦人家族

中央総行動

二〇〇六実施!

二〇〇六青年婦人家族中央行動が三月十七日東京新橋生衛ビル会議室にて開催されました。北は北海道、南は九州の全国各地から国労の仲間が結集しました。

吉田書記長挨拶

二・一六集会および四・四集会を成功させ五月八日から五月二十六日までの北海道キャラバンの成功につなげていく。六月四日札幌集結集会を開催する。

採用差別事件・安全問題・アスベスト被害退職者の認定の取り組みに全力を挙げる。全国大会以降組織拡大が進んでいる。東日本では二名の加入があった。今、四月の新規採用者を何人加入させられるかが大きな課題だ。

春闘はベースアップ六百円で妥結した。久々のベースアップ

を勝ち取った。

厚生省要請行動

報告

四党合意したのに国労が不団結だからと指摘されたが、出席者の思いをそれぞれ伝えることができた。あわせてメンタルヘルス問題についても申し入れして来た。

講演

増える非常勤労働者

講演は、「増える非常勤労働者（自治体労働現場から）」と題して自治体越谷市職員組合執行委員長の下田氏より受けました。今増えている契約社員やパート・臨時などの正社員採用でない労働者の雇用問題を取り上げてもらいました。JRの中にも同様の雇用形態の違う労働者が職場の中に増えてきました。同じフロアで同じ仕事をしていながら待遇

の違うことに戸惑いを受けることもあるのではないのでしょうか？

山下先生はそういう中で労働組合が各種の情報の発信源でなくてはならないと位置づけています。雇用形態の違う労働者に情報を流し情報を共有することで現在の労働条件をお互いに改善していくことが大切です。その昔マルクスが万国の労働者団結せよ!”と呼びかけていますが、現在にも同じことが言えるのではないのでしょうか？

講演をきいて

講演はとてもよかった。日頃自治労との交流はあまりないが、自治体職場の状況がよくわかった。そして労働組合の原点に返って職場ではたすけあいのところ、プラス横のつながりが大切だと思った。共闘が薄くなっている現状で共闘の強化が求められていると訴えていたがもっともだと思った。

運動には浮き沈みがある。“信念をしっかりと持っていれば乗り切れる”の言葉に安心と希望が持てた。

全国各地からの報告

非常勤労働者を
労働組合に組織しよう!

西日本（青年）

西日本

では春闘一日行動を取り組んだ。今は四月一日新入社員の加入の呼びかけ行動に取り組んでいる。これからは国労をもっと知ってもらおう行動に取り組んで行きたい。

東海（婦人）

成果主義

を基本とした新賃金制度の導入の提案があつた。仲間を売るような非民主的職場になる危険があるので反対運動に取り組んで行きたい。足のすくい合いなどの職場での不団結要素になる危険がある。

近畿（家族）

三月十六日西

日本一日行動に取り組んだ。自治体合併による住民サービスの低下、介護保険の改善要求をしていく。

近畿（青年）

金持ち

はもつと金持ちに、貧乏人はさらに貧乏になる社会の仕組みだ。尼崎脱線事故を引きずっていてベア要求はしているが、世間は許してくれするか？会社は遺族の感情を気にしている。ベアはほしいが、遺族の気持ちを考えると複雑だ。

近畿（青年）

我々青年

部は国労を盛り上げていくのが役割だと考えている。

福知山線脱線事故は、四月二十五日十六時頃知つた。ニュースにはもつと早く流れていたようだがテレビも見れないような状況でお客の対応に追われていた。

バスの案内やいろいろな手配をしながら情報はやつとその時間になつてわかつた。その後は毎日人殺しなどの暴言や不当な扱いの中で仕事をした。相手はお客様なので何も言えずつらかつた。

九州（青年）

新賃金制度の

提案があつた。いろいろな評価項目の後に小集団活動が入っていた。時間外労働を強いていてその上で評価するのは間違つていて。案では手当てが三〇%もカットされている。月一・二万円の減になる。

現在は十年で一等級上がるが新制度では一五年になる。新賃金制度に反対するために他労組組合員に共闘を呼びかけている。組合員の生活を守るのが組合だ。組合員の生活賃金を減らす新賃金制度を進めている組合は脱退すべきだと訴えている。

水戸（婦人）

今年二月やつ

と主任発令があつた。平成九年にC等級に合格したが、賃金はC等級になつたが主任の発令はなかつた。多くの人は、東労組も国労も当年（東労組）が二年目（国労）には主任の発令があるがなぜかなかつた。JR東日本会社は“人事考課”だといって理由はそれ以上は言わなかつた。合格まで八年発令まで九年である。考えると単純には喜べない。しかし毎年中央行動に出てきては皆さんにまだ発令はないといつてきたので報告する。

天王寺車掌区

入社時は何も知らずに、組合は西日本労組と決められていた。安全問題を考えたときに組合は国労だと思つた。

京都車掌区

事故でなくなつた人たちの兄弟や配偶者などの関連した社員が多く職場にいる。メンタル面のサポートが必要だ。事故現場で働いていた人も救

助に当たつた人も精神的に大きな負担を負っている。メンタルヘルスや命を守る取り組みを全力でやるべきだ。

次回常任委員会

四月十六日 第三回

東日本婦人部常任委員会

次回

“明るく元気に！”

に結集しよう！

今年も明るく元気に学習交流会を開催しますよ！七月八から九日の予定です。今からちゃんと予定表に組み入れてくださいね！婦人部員が明るく！元気になる企画を考え中です。お楽しみに！

二〇〇五婦人部実態

調査集計中

大変遅れています。二〇〇五婦人部実態調査をただいま集計中です。一日も早く皆さんのお手元に届くようがんばっていますのでこれまたお楽しみに！

明るく元気に！
に結集しよう！